令和７年度	設計の理由	水道施設整備事業に伴い、本工事を要す。	工期	R8.3.20 限り	施工方法	条件付一般競争入札
市単						

実施設計書

寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

矢板市長井地内

設計概要

送水ポンプ	2 台
送水ポンプ現場操作盤	1 面
電磁流量計	1 ループ

設計書用紙（甲）　栃木県矢板市

請負工事価格　金　　円

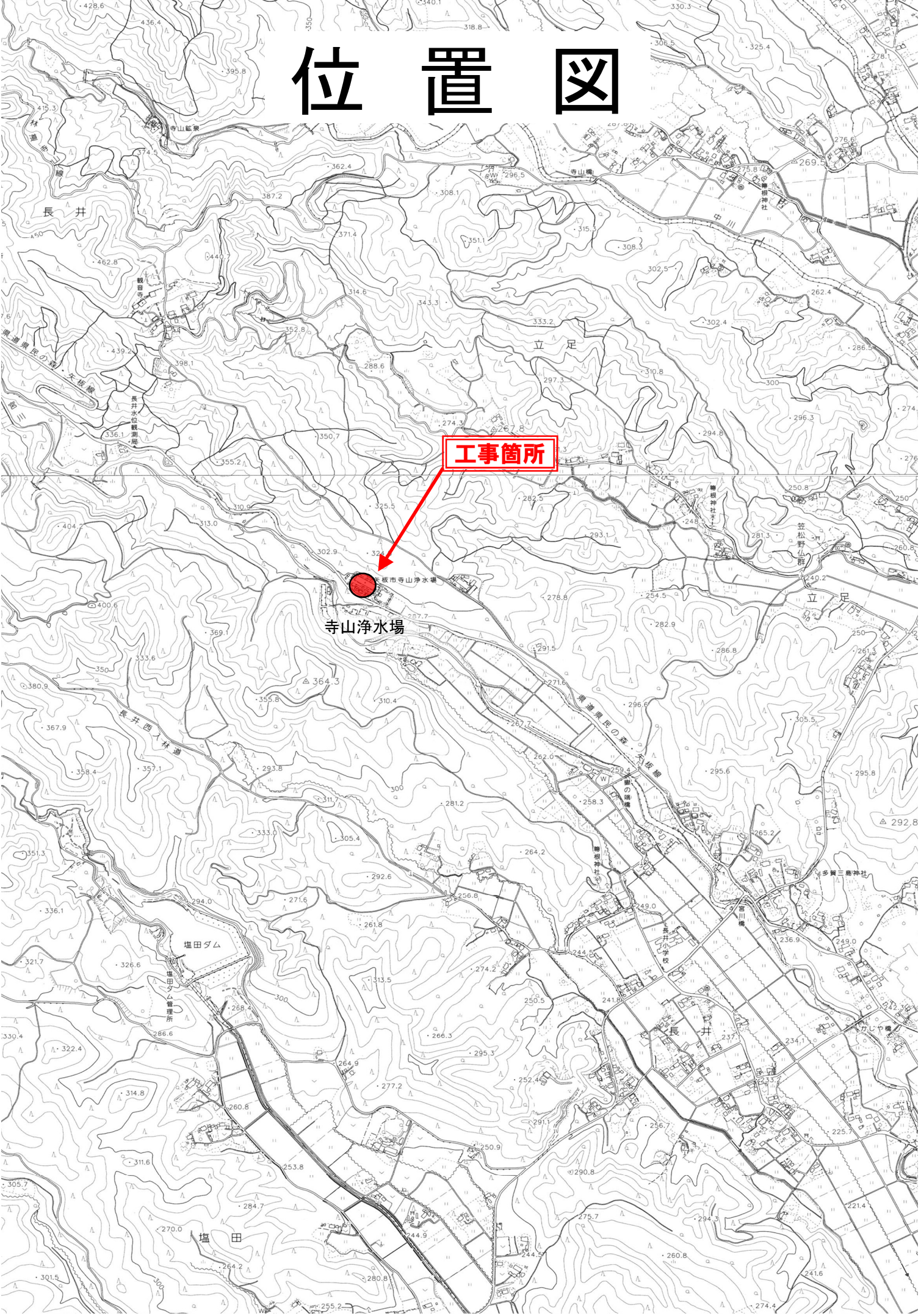
内訳

工事価格　金　　円

消費税相当額　金　　円

予定額 査定額			増減額	予算額 査定額 増減額	に対する		理由
実施前回	設計額			前設計額 請負額 に対する 増減額			
	請負額						
	請負率						
今回変更	設計額						
	請負額						

位　置　図


工事箇所
寺山浄水場
長　井
立　足
塩　田
塩田ダム
長井西入林道
県道県民の森・矢板線
寺山橋
寺山鉱泉
観音寺
長井水位観測局
矢板市寺山浄水場
帯根神社
笠松野公園
宮川橋
長井小学校
多賀三島神社
かじや橋

施　工　条　件　書

寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事（矢板市長井地内）

矢板市上下水道事務所

項　　目	施　工　条　件　・　内　容　等
工　　事 関　　係	・占用位置、土被り等、計画に沿って十分注意し、凹凸配管にならぬよう管を布設し、転圧埋め戻し作業を行うこと。
工　　程 関　　係	・工事着手前に施工計画書を提出し、監督員と協議すること。 ・工事に何らかの支障があり、工程が遅れる場合、監督職員と協議すること。
用　　地 関　　係	
公害対策 関　　係	・作業中の騒音、振動については、できる限り配慮すること。 ・原則として日曜、祭日等の作業は避けること。 ・残土運搬時、路上に落ちた土砂等の清掃を行うこと。（特に搬入先の路上）
安全対策 関　　係	・施工の安全確保の徹底を図るため、作業員全員による定期的な教育、訓練等を実施すること。（労働災害防止）
安全訓練	・工事期間中、安全・衛生に関する研修・訓練等を月１回（半日）以上実施すること。 ・ＫＹ日報を作成し、竣工図書に添付すること。

項　　目	施　工　条　件　・　内　容　等
仮　設　備 関　　係	・仮設備の構造及び施工方法は、施工計画書に明示したうえで、監督員と協議すること。 ・工事表示等保安施設については、所定の位置に設置し、夜間においても遠方から確認できるようにすること。また、常に巡回を行い、安全確認を行うこと。特に交差点付近の工事となる場合は、万全を期すこと。 ・掘削深が深くなるところについては、適切に土留め等を設置すること。
建設副産物 関　　係	・建設副産物関係については下記のとおりとする。 １．建設残土 （１）処分方法：　指定処理（Ｂ） （２）運搬距離：　１０．０　km ※捨土処理報告書を作成し、監督員に提出するものとする。 ※日曜、祭日、夜間の捨土は原則禁止とする。 ２．建設廃材 （１）Ａｓ・Ｃｏ塊 （２）運搬距離：　４．５　km ※塊は３０cm未満に破壊し、中間処理施設に搬入すること。 （１）Ａｓ切削汚泥 （２）運搬距離：　２５．０　km ※廃材処理報告書を作成し、監督員に提出するものとする。 ※建設廃棄物処理委託契約を処理業者と締結し、契約書の写しを建設副産物処理承認申請書に添付すること。 ※マニフェストＥ票の写しを竣工図書に添付すること。 ・再生資源利用〔促進〕計画書の提出 工事を実施するにあたり、再生資源利用〔促進〕計画書を施工計画書に添付するものとし、計画書の実施状況については、再生資源利用〔促進〕実施書を作成して、工事完了後速やかに実施書及びＣＤ－Ｒを発注者に提出すること。 なお、監督員の承諾を得て、施工計画書を省略する場合においても、再生資源利用〔促進〕実施書等については、提出するものとする。 また、再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）の作成にあたり、再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）入力システムを利用するものとする。

施　工　条　件　書

寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事（矢板市長井地内）

矢板市上下水道事務所

項　　目	施　工　条　件　・　内　容　等
工事用道路関　　係	
支障物件等	・地下埋設物や他の公共施設等との離隔は、３０cm以上確保すること。
過積載防止	・ダンプトラック過積載による違法運転の防止実施要領により、下記のことについて尊守すること。 (1)積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積込ませないこと。 (2)さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積込ませない。 ※不表示者とは「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（「ダンプカー規正法」）第４条における表示義務違反車をいう。 (3)過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 (4)取引関係にあるダンプカー事業者が過積載を行う場合、または、さし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5)建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たって、下請業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6)以上のことにつき、下請け業者にも十分指導すること。

項　　目	施　工　条　件　・　内　容　等
排水口（濁水処理含）関　　係	
そ　の　他	・本工事は、水道工事標準仕様書、土木工事共通仕様書、土木工事必携及び公共工事品質確保の手引きを準用すること。 ・特記仕様書を遵守すること。 ・平成２４年度より、工事竣工図書の一部（工事竣工図、管路弁栓調書・工事写真）を電子納品とするので、図書作成については、監督員と協議し、指示に従うこと。 ・道路復旧については、交通の支障とならないよう速やかに復旧すること。 ・資材の発注は必ず、監督員と協議したのち発注すること。 ・施工前に必ず、監督員と現地確認を行うこと。

（別紙　５）

捨　土　処　理　報　告　書

令和　　年　　月　　日

矢板市長　　様

住　　所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

捨土処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

１．工　　事　　名

２．工　事　場　所

３．処　分　場　所

４．処分地所有者名
　　又は処理施設社名

５．処　　理　　量

６．付　属　書　類　　写真（処理前後）、位置図

（別紙　６）

廃　材　処　理　報　告　書

令和　　年　　月　　日

矢板市長　　様

住　　所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

廃材処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

１．工　　事　　名

２．工　事　場　所

３．処　分　場　所

４．処分地所有者名
　　又は処理施設社名

５．処　　理　　量

６．付　属　書　類　　写真（中間処理施設看板、廃材幅管理）、位置図
中間処理施設入荷証明

電 子 納 品 に 関 す る 特 記 仕 様 書

（ 建 設 工 事 ）

（適用範囲）

第１条　本特記仕様書は、当該工事（以下「本工事」という。）の最終成果品を電子納品の対象とし、そのために必要な事項について定めるものである。

（電子納品）

第２条　電子納品とは、本工事の最終成果を電子データで納品することをいう。

ここでいう電子データとは、「電子納品運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。

（成果品の提出）

第３条　成果品の提出の際には、国土交通省チェックシステム及びウィルス対策ソフトを利用してチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、電子媒体に格納することとする。提出物は、電子媒体（ＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ）正副各１部、計２部とする。

なお、電子納品の対象外とした書類は、従来通り紙で納品する。

「ガイドライン」で特に記載のない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、監督職員と協議の上、電子化を決定する。

また、紙による書類の提出は必要最小限とする。

（成果品の保管）

第４条　請負者は、発注者に提出する電子媒体に格納したデータを、バックアップとして請負者のハードディスク等に保管し、その保管年数は１０年間を原則とする。

（成果品の確認）

第５条　請負者は、電子媒体（ＣＤ－Ｒ又はＤＶＤ－Ｒ）提出時において、電子データが「ガイドライン」に基づき作成されていることを、監督職員の立会いのもと確認する。

なお、電子データの検査方法については、別途協議のうえ決定する。

（その他）

第６条　請負者は、本工事の実施にあたり内容に疑義が生じた場合には、速やかに監督職員と協議し、その指示を受けなければならない。

事　前　協　議　チ　ェ　ッ　ク　シ　ー　ト

（　建　設　工　事　）

（様式１）

<table>
<tr><td>実施年月日</td><td colspan="6">令和　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="4">担 当 者</td><td rowspan="2">発　注　者</td><td>氏　名</td><td></td><td>所　属</td><td colspan="2">課</td></tr>
<tr><td>電　話</td><td></td><td>メール</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">請　負　者</td><td>氏　名</td><td></td><td>所　属</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>電　話</td><td></td><td>メール</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="4">工事概要</td><td>契 約 番 号</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>工　事　名</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td>工 事 場 所</td><td colspan="5">矢板市　　地内</td></tr>
<tr><td>工　　期</td><td colspan="5">令和　　年　　月　　日　～　令和　　年　　月　　日</td></tr>
<tr><td rowspan="5">対象書類</td><td>書　類　等</td><td>フォルダ</td><td>ｵﾘｼﾞﾅﾙﾌｧｲﾙ
ｿﾌﾄ及びﾊﾞｰｼﾞｮﾝ</td><td>ｽﾀｲﾙｼｰﾄ
の有無</td><td colspan="2">備　　考</td></tr>
<tr><td>■　工事管理情報</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">XML 形式</td></tr>
<tr><td>□　発　注　図</td><td>DRAWINGS</td><td></td><td></td><td colspan="2">SFC 形式</td></tr>
<tr><td>■　完成(竣工)図</td><td>DRAWINGF</td><td></td><td></td><td colspan="2">SFC 形式</td></tr>
<tr><td>■　工事写真帳</td><td>PHOTO</td><td></td><td></td><td colspan="2">JPEG 形式</td></tr>
<tr><td>ﾃﾞｼﾞﾀﾙｶﾒﾗ</td><td>画　素　数</td><td colspan="5">万画素（１００～２００万画素）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デ　ー　タ
管 理 者</td><td rowspan="2">請　負　者</td><td>氏　名</td><td></td><td>所　属</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>電　話</td><td></td><td>メール</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ</td><td>方　　法</td><td colspan="5">□　パソコンとＣＤ－Ｒ
□　パソコンとＭＯ
□　パソコンとＤＶＤ－Ｒ
□　パソコンと外付けハードディスク
□　その他</td></tr>
<tr><td>頻　　度</td><td colspan="5">□　毎日　　□　２日に１回　　□　１週間に１回
□　その他　（　　）</td></tr>
<tr><td>ｳｨﾙｽ対策</td><td>ソフト名</td><td colspan="5">（１週間に１回は定義データ更新状況を確認）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>検査時の対応等</td><td colspan="5"></td></tr>
<tr><td colspan="6"></td></tr>
<tr><td colspan="7">※　本チェックシートを双方で管理すること。また、施工計画書に添付すること。</td></tr>
</table>

様式２

電 子 媒 体 納 品 書

矢板市長　　様

請負者（受注者）
住　　所
氏　　名　　印
（担当者）　　印

下記のとおり電子媒体を納品いたします。

記

工　事　名 （業務委託名）			契約番号		
工事場所 （委託場所）	矢板市　　地内		TECRIS・CORINS 登録番号		
電子媒体の種類	規　格	単　位	数　量	作成年月日	備考
		枚		令和　年　月　日	
【適用】					

【発注者側記載事項】
受領者及び保管場所

担　当　課	課　　班・担当	職氏名	印
保 管 場 所			

寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

特　記　仕　様　書

矢板市　上下水道事務所

第１章　総　則

第１節　一般事項

第１条　概要

本仕様書は、矢板市に於ける寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事に伴い、送水ポンプ２台、送水ポンプ現場操作盤、送水流量計の更新に適用するものである。

第２条　関連法令、規格基準等の尊守

本工事に関わる機器、諸材料及び施工基準については、関係法令、規格、基準等を尊守しなければならない。下記を適用するものとする。

1）日本工業規格　ＪＩＳ
2）日本水道協会規格　ＪWWＡ
3）電気学会電気規格調査会標準規格　ＪＥＣ
4）日本電機工業会標準規格　ＪＥＭ
5）日本電線工業会規格　ＪＣＳ
6）内線規程（日本電気技術規格委員会）
7）建築業法
8）建築基準法
9）労働安全衛生法
10）水道法及び水道施設基準
11）電気設備技術基準
12）その他関係する諸法令規則

第３条　補完の義務

請負者は、設計図書・仕様書に明記されていない事項があるとき、または、内容に相互符号しない事項があるときは、担当職員（以後監督員とする）と協議の上決定するものとする。ただし、明記されていないものであっても本工事の特性上、必要不可欠と監督員が判断したものについては、請負者の負担により施工しなければならない。

第４条　書類の提出

請負者は、指定の日までに監督員の定める様式により書類を提出しなければならない。提出した書類に変更を生じた時は、速やかに変更届けを提出しなければならない。

第５条　提出図書

請負者は、下記の書類を提出すること。

1）請負契約書　２部
2）納入仕様書　２部
3）承認図　２部
4）試験成績書　２部
5）機器取扱説明書　２部
6）完成図　２部
7）その他必要な書類及び図書　２部

第６条　手続きの代行

本工事中、監督官庁その他の手続きを要するものは、請負者で申請届け出に要る図書を作成し、手続き一切を代行するものとする。

第 7 条　製作の着手

請負者は、契約後速やかに本仕様書及び設計図に基づいて監督員と打ち合せの上、承認図を作成し、監督員の承諾を受けるものとする。その内容については、監督員の指示による。本工事に使用する機器が固有に設計による製品で、本仕様書または、添付設計図と異なる場合は事前に理由を申し出、承諾をうけること。

第 8 条　荷造及び輸送

本工事請負者は、各機器の製作を完了し、全ての工場試験ならびに検査に合格した後、据付現場に搬入し据付を行うこと。荷造り、運搬費及び輸送途中での損傷の修復等はすべて請負者の負担とする。また、出荷に際して発送明細書を提出すること。

第 9 条　変更、補修等

本工事中、建築構造、機械設備等の関係で起こる機器の据付位置及び配管経路等の軽微な変更は、請負金額に関係なく施工すること。

第 10 条　保安対策

本工事の施工に当たっては、労働安全衛生法を尊守し、就業者に対しては常にこれを徹底させるとともに安全作業に対する十分な施策を行い、安全責任者を定めて管理しなければならない。

第 11 条　環境衛生

本工事は、公共水道事業であるから、環境衛生には十分注意し、不用の場所には立ち入らないように特に注意すること。

第 12 条　工事の検査

請負者は、次のいずれかに該当する時は、直ちに監督員に通知し、検査を受けなければならない。

1）工事が完成した時（完成検査）
2）工事の施工中でなければその検査が不可能な時又は著しく困難な時（中間検査）
3）部分払いを必要とする時（出来高検査）
4）工事の手直しが完了した時（手直し検査）

第 13 条　立会検査

本工事の主要機器は、監督員と協議の上、必要な場合は工場立会試験を行う。

第 14 条　竣工及び受渡し

本工事の竣工期日は、令和　８年　３月２０日とする。受渡期日は、現場据付完了後、立会試験及び竣工試験に合格した後とする。

第 15 条　保障期間

本工事の保証期間は、試運転完了受渡後、1 か年とする。また保証期間中に請負者の責任による原因で生じた故障については請負者が無償で取替え又は修理すること。

第 16 条　試運転及び調整

本設備工事がすべて完了後、担当係員の立会いのもとで総合試運転を行うこと。

第 17 条　取扱説明及び技術指導

本設備工事完了後、各機器及び計器の取扱、及び保守に関する講習会を現地で行うこと。

第２節　各工事の共通仕様書

第１条　仮設

本工事に必要な電力、水等の設備は、監督員と協議の上、決定し施工する。これに係わるすべての費用は請負者の負担とする。

第２条　工事用機械器具等

工事用の機械器具等は、当該工事に適応したものを使用しなければならない。監督員が不適当と認めた時は速やかにこれを取り替えなければならない。

第３条　施工方法

本工事に関する据付、配管、配線方法は、図面又は特記仕様書に示す通りとする。

第４条　施工の取合

施工は責任分担を明確にし、且つ、施工後のメンテナンスを考慮に入れ、施工者の責任に於いて施工、及び施工管理を行うこと。

第５条　工程の進行

請負者は、常に工事の進捗状況について注意し、予定の工事工程と実績を比較検討して、工事の円滑な進行を計らなければならない。

第６条　就業時間

工事施工の就業時間については、予め監督員と協議しなければならない。

第７条　他工事との協調

工事現場付近で他工事が施工されているときは、互いに協調して円滑な施工を計らなくてはならない。

第８条　工事記録写真

1）請負者は、工事全般にわたって監督員の指示により工事過程を段階的に撮影編集し工事検査の際、写真帳として提出しなければならない。

2）既存の構造物その他で撤去、取り壊し等をするものの内、監督員が指示した場合は現況を撮影しなければならない。

3）工事施工後、外部から目視出来ない箇所は、原則として撮影しなければならない。

第９条　単位

基本単位、誘導単位及び補助計算単位は、計量法によること。

第 10 条　付属品

各機器の付属品は、仕様書及び特記仕様書に記載されているものを付属するほか、請負者に於いて運転上必要と認めるものはすべて付属すること。

第 11 条　荷造及び輸送

荷造りは厳重に施し、防湿を完全に行い、天地無用品にはその旨を明記し、適切な転倒防止の方法を講じること。

第 12 条　材料の規格

設計図書にその品質規格が明示されていない材料は、すべて日本工業規格（ＪＩＳ）日本水道協会規格（ＪＷＷＡ）等に適合しなければならない。但し規格のないものについては市場中級同等の品質を有するものとする。

第２章　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

第１節　概要

配水池の流出弁室内にある送水ポンプ２台、送水ポンプ現場操作盤、送水流量計の更新を行うものである。

第２節　機器仕様

1）送水ポンプ

形　状　：　ステンレス製多段渦巻ポンプ
数　量　：　２台
口　径　：　φ32
吐出量　：　0.02m3/min
揚　程　：　44m
電　源　：　3φ200V　1.1kW

その他必要なもの：　１式

2）送水ポンプ現場操作盤

形　状　：　鋼板製屋内ｽﾀﾝﾄﾞ形
塗装色　：　マンセル５Ｙ７／１
材　質　：　鋼板製
寸　法　：　W500 × H600 × D300　（H1600 ｽﾀﾝﾄﾞ含む）
数　量　：　１面
構　成

操作スイッチ	：	１式
表示ランプ	：	１式
端子台	：	１式
スペースヒーター	：	１式
その他必要なもの	：	１式

3）送水流量計

形　状　：　電磁流量計（変換器分離型）
数　量　：　１台
電　源　：　DC24V 電源/DC20.4～26.4V
出力信号　：　4-20mA　DC 出力
検出器口径：　50 ㎜
接続規格　：　フランジ JIS10K
材　質　：　フランジ材料　ＳＵＳ304
電極材料　ＳＵＳ316Ｌ
接液リング材料　ＳＵＳ316

その他必要なもの：　１式

第 3 章　工事詳細

第 1 条　工事範囲

1) 第 2 章第 2 節に記載の機器製作及び既設撤去、新設据付工事
2) その他上記に伴う諸付帯工事
3) 試運転調整

第 2 条　機器据付工事

1) あらかじめ承認を得た施工図に基づき機器の設置据付をおこなうものとする。
2) 機器据付の基礎ボルト穴及び埋め込みを必要とする箇所は、油分、砂、砂塵等を充分清掃した後に、施工するものとする。

第 3 条　電気工事

1) 主使用材料は下記の通りとする。(既設利用の場合はこの限りではない。)
   (1) 電線類
   600V 架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ　(EM-CE)　JIS C3605
   制御用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ　(EM-CEE)　JIS C3401
   遮蔽付制御用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽｹｰﾌﾞﾙ　(EM-CEE-S)　JIS C3401

2) 施工
   (1) 計装用ケーブルは動力ケーブルにより誘導障害を受けない様にすること。
   (2) ケーブル端末は原則として圧着端子を用いること。
   (3) 接地は電気的、機械的に完全に連絡し規定値を満足するよう施工すること。

第 4 条　試運転調整

機器単体試験及び組合わせ試験を行い、試験結果報告書を提出すること。

1) 機器単体試験
   据付完了後において、下記の機器単体試験をおこなうものとする。
   (1) 保護装置類の作動、調整試験及び設定
   (2) リレー、タイマーその他制御機器の作動確認及び設定
   (3) 絶縁抵抗測定値
   (4) 計装機器のゼロ、スパン校正
   (5) その他必要な試験
2) 組合せ試験
   本工事並びに本工事と既設装置等との機器間の良好な作動及び機能的関連等を確認する。
   (1) インターフェース試験
   (2) シーケンス試験
   (3) 計装装置及びそのループ試験

(4) 絶縁試験
(5) 自主検査
(6) その他必要な試験

3) 総合試運転

各機器・設備間の連携運転による作動状況と総合的なプラントとしての機能を確認する。また、維持管理職員に対する運転操作・保守点検方法との基礎的指導を本運転開始までに行う。

第 5 条　雑則

1) 本工事請負者は、係員の指示のもとに細部にわたり良心的かつ高度な技術をもって、設計、製作、据付にあたり運転に際し支障を生じないようにすること。
2) 請負者は、本工事着工にあたり関連業者と充分なる事前協議をなし、工事進捗に支障なきようにすること。
3) 各機器の付属品、予備品は本仕様書に明記なくとも運転保守上当然必要と判断されるものは納入すること。
4) 本工事により発生した廃棄物については、適正に処理すること。
5) 本工事に使用する主要機器及び材料は、矢板市の承認したものとする。

総　括　表

費　目	工　種	種　別	細　別		単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
本工事費		機械設備工事			式	1.0			第1号内訳書
		電気設備工事			式	1.0			第2号内訳書
		直接工事費							

総　括　表

費　目	工　種	種　別	細　別		単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		共通仮設費（率分）							
		純工事費							
		現場管理費							
		工事原価							
		一般管理費							
			契約補償						
		工事価格							
		消費税相当額							
		工事費							

１号内訳書　機械設備

費　目	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
機械設備								
		機器費		式	1.0			第1号明細書
		材料費		式	1.0			第2号明細書
		労務費		式	1.0			第3号明細書
		複合工費		式	1.0			第4号明細書
		直接工事費						

２号内訳書　電気設備

費　目	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
電気設備								
		機器費		式	1.0			第5号明細書
		労務費		式	1.0			第6号明細書
		複合工費		式	1.0			第7号明細書
		直接工事費						

第1号 明細書　　機器費

名称・形状寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
送水ポンプ(陸上ポンプ)　φ32×0.02m3/min×44m×1.1kW　3φ200V50Hz	台	2.0			
機器費　計					

第2号 明細書　　材料費

名称・形状寸法		単位	数量	単価	金額	摘要
SUS1F加工管(片落直管)	φ50×φ32×230L　JIS10K	個	2.0			
SUS1F加工管(直管)	φ32×100L　JIS10K	個	2.0			
SUS2F加工管(片落曲管)	φ50×φ150L×90°×φ32×250L　JIS10K	個	2.0			
SUS2F加工管(直管)	φ50×200L　JIS10K	個	1.0			
SUS2F加工管(直管)	φ50×270L　JIS10K	個	1.0			
SUS3ルーズF加工管(T字管)	φ50×150L×150L×150H　JIS10K	個	1.0			
SUS2F加工管(直管)	φ50×850L　JIS10K	個	1.0			
SUS2F加工管(曲管)	φ50×150L×90°×150L　JIS10K	個	1.0			
SUS2F加工管(直管)	φ50×1000L　JIS10K	個	1.0			

第2号 明細書　　材料費

名称・形状寸法		単位	数量	単価	金額	摘要
SUS2F加工管(直管)	φ50×125L　JIS10K	個	1.0			
SUS2F加工管(直管)	φ50×730L　JIS10K	個	1.0			
フランジアダプター(NC製)	φ50×200L　JIS10K	個	1.0			
仕切弁(NC製)	φ32　JIS10K	個	2.0			
仕切弁(NC製)	φ50　JIS10K	個	4.0			
水撃防止逆止弁(NC製)	φ32　JIS10K	個	2.0			
SGP	15A	m	4.5			
同上付属材料費		式	1.0			
圧力計		個	2.0			

第2号 明細書　　材料費

名称・形状寸法		単位	数量	単価	金額	摘要
圧力計用ボールバルブ		個	2.0			
横水栓	13A　ホース接続形	個	1.0			
ホース		m	1.0			
ボールバルブ	15A	個	1.0			
フランジ接合材	φ32　JIS10K　SUS　B,N,P	組	6.0			
フランジ接合材	φ50　JIS10K　SUS　B,N,P	組	16.0			
絶縁フランジ接合材	φ50　JIS10K　SUS　B,N,P	組	2.0			
SUS架台	ポンプ用	組	2.0			
補助材料費		式	1.0			

第2号 明細書　　材料費

材料費　計					

第3号 明細書　　労務費

機械設備据付工	人				
設備機械工	人				
配管工	人				
普通作業員	人				
電工	人				
配管止水工　流入配管φ100　分岐配管止水工法	式	1.0			
配管止水工　流出配管φ50　凍結工法	式	1.0			
機器搬入・搬出費	式	1.0			
試運転調整費	式	1.0			

第３号 明細書　　労務費

労務費　計					

第4号 明細書　　複合工費

既設保温撤去	40A　SUS鋼板+GW	m	1.0			
既設保温撤去	50A　SUS鋼板+GW	m	8.5			
既設保温撤去	100A　SUS鋼板+GW	m	1.0			
保温工	32A　SUS鋼板+GW	m	1.0			
保温工	50A　SUS鋼板+GW	m	6.0			
保温工	100A　SUS鋼板+GW	m	1.0			
舗装切断工	AS	m	4.0			
舗装取壊し工	AS	m2	1.0			
機械掘削工	BH0.20m3	m3	1.7			

第4号 明細書　　複合工費

機械埋戻工（砂）	BH0.20m3	m3	0.7			
機械埋戻工（再生砕石）	BH0.20m3	m3	1.0			
舗装工	AS	m2	1.0			
残土処理工	2tD　BH0.20m3　10.5km以下	m3	1.7			
廃材処理工	2tD　BH0.20m3　10.5km以下	m3	0.1			
産廃処分運搬費	2tD　片道距離概ね25km	回	1.0			
産廃処分費	金属くず	m3	0.3			
複合工費　計						

第5号 明細書　　機器費

名称・形状寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
送水ポンプ現場操作盤　屋内スタンド型	面	1.0			
電磁流量計　50A　JIS10KF　水中型	ループ	1.0			
機器費　計					

第6号 明細書　　労務費

名称・形状寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
電工　撤去含む	人				
電気通信技術者	人				
試験調整費	式	1.0			
労務費　計					

第7号 明細書　　複合工費

名称・形状寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
産廃処分運搬費　2tD　片道距離概ね25km	回	1.0			
産廃処分費　金属くず	m3	0.6			
複合工費　計					

公　表　単　価　一　覧　表

寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
送水ポンプ(陸上ポンプ)	φ32×0.02m3/min×44m×1.1kW　3φ200V50Hz	台	428,000			○	
SUS1F加工管(片落直管)	φ50×φ32×230L　JIS10K	個	37,900			○	
SUS1F加工管(直管)	φ32×100L　JIS10K	個	22,800			○	
SUS2F加工管(片落曲管)	φ50×φ150L×90°　×φ32×250L　JIS10K	個	60,200			○	
SUS2F加工管(直管)	φ50×200L　JIS10K	個	35,100			○	
SUS2F加工管(直管)	φ50×270L　JIS10K	個	35,900			○	
SUS3ルーズF加工管(T字管)	φ50×150L×150L×150H　JIS10K	個	82,800			○	
SUS2F加工管(直管)	φ50×850L　JIS10K	個	46,900			○	
SUS2F加工管(直管)	φ50×150L×90°　×150L　JIS10K	個	53,500			○	
SUS2F加工管(直管)	φ50×1000L　JIS10K	個	50,700			○	
SUS2F加工管(直管)	φ50×125L　JIS10K	個	33,800			○	
SUS2F加工管(直管)	φ50×730L　JIS10K	個	45,000			○	
フランジアダプター(NC製)	φ50×200L　JIS10K	個	106,000			○	
仕切弁(NC製)	φ32　JIS10K	個	127,000			○	
仕切弁(NC製)	φ50　JIS10K	個	143,000			○	
水撃防止逆止弁(NC製)	φ32　JIS10K	個	125,000			○	
圧力計		個	16,200			○	
圧力計用ボールバルブ		個	5,780			○	
ホース		m	3,300			○	
ボールバルブ	15A	個	8,430			○	

1　本表に記載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。

2　適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」：機械器具等の損料または賃料

「労」：労務費

「材」：材料費

公　表　単　価　一　覧　表

寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
フランジ接合材	φ32　JIS10K　SUS　B,N,P	組	3,850			○	
フランジ接合材	φ50　JIS10K　SUS　B,N,P	組	5,050			○	
絶縁フランジ接合材	φ50　JIS10K　SUS　B,N,P	組	18,600			○	
SUS架台	ポンプ用	組	79,800			○	
配管止水工	流入配管φ100　分岐配管止水工法	式	564,000		○		
配管止水工	流出配管φ50　凍結工法	式	72,000		○		
機器搬入・搬出費		式	600,000		○		
送水ポンプ現場操作盤	屋内スタンド型	面	742,000			○	
電磁流量計	50A　JIS10KF　水中型	ループ	1,490,000			○	

1　本表に記載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。

2　適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。

「機」：機械器具等の損料または賃料

「労」：労務費

「材」：材料費

寺 山 浄 水 場 送 水 ポ ン プ ・ 送 水 流 量 計 更 新 工 事

数 量 計 算 書
（ 機 械 設 備 ）

労務工数集計表　　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

労務工 / 工種	機械設備据付工	設備機械工	配管工	普通作業員			備考
機器据付							
機器撤去							
小配管据付							
小配管撤去							
その他							
計							
設計人工							

記

機　器　等　据　付　工

（設備名）　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

機 器 等 据 付 歩 掛 り 分 類 表

分類	分類目標	機器等名称	範　　囲
第1類	比較的高速回転の回転機器	ポンプ、ブロワ、モータ、減速機、真空ポンプ、空気圧縮機、エンジン、遠心濃縮機、遠心脱水機等	(a)．本体に付属する弁以後の給油及び給水等小配管は、管の歩掛りによる。 (b)．流体機器の吸込み、吐出しフランジ以後は、弁または管の歩掛りによる。 (c)．共通ベットのあるものはこれを含む。
第2類	芯出し調整の楽な機器	弁類（自動（電動・空気）弁呼び径100㎜以上、手動弁呼び径400㎜以上）、フィルタ（油圧、乾式）、モータ用抵抗制御器、水中ポンプファン、水中攪拌機、水中機械式曝気機等	(a)．自動（電動・空気）弁呼び径90㎜以下、手動呼び径350㎜以下の弁類で鋳鉄管配管中のものは、鋳鉄管歩掛りにより算出し、鋼管配管中のものは小配管歩掛りに含む。 (b)．弁のフランジ接合は配管歩掛りによる (c)．付属するモータ、減速機等（バルブコントローラ）を含む。
第3類	芯出し調整が必要な機器	阻水扉、制水扉、塩素関係機器、ボイラ等	(a)．バルブコントローラのあるものはこれを含む。 (b)．配管を除いた油圧装置を含む。
第4類	貯留機器	タンク類、塔類（スクラバサイレンサ）、熱交換器、ストレーナ類、急速ろ過器（鋼製）等	(a)．取出しフランジは以後は管の歩掛りによる。
第5類	散気設備	散気板、散気筒（散気管）	
第6類	比較的低速回転で、現場組立部品の多いもの	沈砂池機械、沈殿池機械、コンベア類、ホッパ類、汚泥濃縮タンク機械、物上げ機械、脱水機（BP、加圧）、機械曝気（ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ用）等	(a)．付属するモータ、減速機等駆動装置を含む。 (b)．点検用歩廊、階段は第７類とする。
第7類	安全設備、架台類	鋼製渡り、手すり、鋼製ふた類、管支持架台、点検歩廊、階段、防泡金網、カバー等	

機 器 名 称	種別	単位重量 (ton)	台数	歩　掛			据　付　工					輸送重量 (ton)	備　　考
				計算式	（人）	補正率	据付人工	機械設備据付工	設備機械工				
【据付】													
陸上ポンプ	1類	0.023	2.0			1.000						0.046	
SUS架台	7類	0.020	2.0			1.000						0.04	
計												0.09	t
機械設備据付工×0.9													人
普 通 作 業 員×0.1													人
設　備　機　械　工													人
													人

第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
				別表参照		

1.7類は,設備機械工とする。

機　器　等　撤　去　工

（設備名）　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

機 器 等 据 付 歩 掛 り 分 類 表

分類	分類目標	機器等名称	範　　囲
第1類	比較的高速回転の回転機器	ポンプ、ブロワ、モータ、減速機、真空ポンプ、空気圧縮機、エンジン、遠心濃縮機、遠心脱水機等	(a)．本体に付属する弁以後の給油及び給水等小配管は、管の歩掛りによる。 (b)．流体機器の吸込み、吐出しフランジ以後は、弁または管の歩掛りによる。 (c)．共通ベットのあるものはこれを含む。
第2類	芯出し調整の楽な機器	弁類（自動（電動・空気）弁呼び径100㎜以上、手動弁呼び径400㎜以上）、フィルタ（油圧、乾式）、モータ用抵抗制御器、水中ポンプファン、水中攪拌機、水中機械式曝気機等	(a)．自動（電動・空気）弁呼び径90㎜以下、手動呼び径350㎜以下の弁類で鋳鉄管配管中のものは、鋳鉄管歩掛りにより算出し、鋼管配管中のものは小配管歩掛りに含む。 (b)．弁のフランジ接合は配管歩掛りによる (c)．付属するモータ、減速機等（バルブコントローラ）を含む。
第3類	芯出し調整が必要な機器	阻水扉、制水扉、塩素関係機器、ボイラ等	(a)．バルブコントローラのあるものはこれを含む。 (b)．配管を除いた油圧装置を含む。
第4類	貯留機器	タンク類、塔類（スクラバサイレンサ）、熱交換器、ストレーナ類、急速ろ過器（鋼製）等	(a)．取出しフランジは以後は管の歩掛りによる。
第5類	散気設備	散気板、散気筒（散気管）	
第6類	比較的低速回転で、現場組立部品の多いもの	沈砂池機械、沈殿池機械、コンベア類、ホッパ類、汚泥濃縮タンク機械、物上げ機械、脱水機（BP、加圧）、機械曝気（ｵｷｼﾃﾞｰｼｮﾝﾃﾞｨｯﾁ用）等	(a)．付属するモータ、減速機等駆動装置を含む。 (b)．点検用歩廊、階段は第７類とする。
第7類	安全設備、架台類	鋼製渡り、手すり、鋼製ふた類、管支持架台、点検歩廊、階段、防泡金網、カバー等	

機 器 名 称	種別	単位重量 (ton)	台数	歩　掛				据　付　工				輸送重量 (ton)	備　　考
				計算式	（人）	補正歩掛	補正率	据付人工	機械設備据付工	設備機械工	設備機械工		
【撤去】													
陸上ポンプ	1類	0.074	2.0				1.000					0.148	

第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
				別表参照		

	計					0.15	t
	機械設備据付工×0.9						人
	普 通 作 業 員×0.1						人
	設　備　機　械　工						人
							人

1. 7類は,設備機械工とする。
2. 撤去工事で,再利用するものは標準歩掛の60%,再利用しないものは40%とする。

小配管据付

（設備名）　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

口径	1．配管用(白・黒)，水道用鋼管										2．ライニング鋼管										3．ステンレス鋼鋼管										4．塩化ビニル管									
	設計数量(m)	屋内配管			設計数量(m)	屋外配管		設計数量(m)	埋設配管		設計数量(m)	屋内配管			設計数量(m)	屋外配管		設計数量(m)	埋設配管		設計数量(m)	屋内配管			設計数量(m)	屋外配管		設計数量(m)	埋設配管		設計数量(m)	屋内配管			設計数量(m)	屋外配管		設計数量(m)	排水通気管	
		歩掛(人/m)	補正	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	補正	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	補正	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	補正	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)
13																																								
15	4.51																																							
20																																								
25																																								
30																																								
32																					1.56																			
40																																								
50																					6.65																			
65																																								
75																																								
80																																								
100																																								
125																																								
150																																								
200																																								
250																																								
300																																								
350																																								
計	A				B			C			D				E			F			G				H			I			J				K			L		

管　種 ＼ 種　別	屋　内	屋　外	埋　設	排水通気	配管工計
1．配管用(白・黒)，水道用鋼管	A	B	C		人
2．ライニング鋼管	D	E	F		人
3．ステンレス鋼鋼管	G	H	I		人
4．塩化ビニル管	J	K		L	人
				合計	人

小配管撤去

（設備名）　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

口径	1．配管用(白・黒)，水道用鋼管									
	設計数量(m)	屋内配管			設計数量(m)	屋外配管		設計数量(m)	埋設配管	
		歩掛(人/m)	補正	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)
13										
15	5.18									
20										
25										
30										
32										
40	0.84									
50	9.85									
65										
75										
80										
100										
125										
150										
200										
250										
300										
350										
計	A				B			C		

口径	2．ライニング鋼管									
	設計数量(m)	屋内配管			設計数量(m)	屋外配管		設計数量(m)	埋設配管	
		歩掛(人/m)	補正	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)
13										
15										
20										
25										
30										
32										
40										
50										
65										
75										
80										
100										
125										
150										
200										
250										
300										
350										
計	D				E			F		

口径	3．ステンレス鋼鋼管									
	設計数量(m)	屋内配管			設計数量(m)	屋外配管		設計数量(m)	埋設配管	
		歩掛(人/m)	補正	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)
13										
15										
20										
25										
30										
32										
40										
50										
65										
75										
80										
100										
125										
150										
200										
250										
300										
350										
計	G				H			I		

口径	4．塩化ビニル管									
	設計数量(m)	屋内配管			設計数量(m)	屋外配管		設計数量(m)	排水通気管	
		歩掛(人/m)	補正	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)		歩掛(人/m)	人工数(人)
13										
15										
20										
25										
30										
32										
40										
50										
65										
75										
80										
100										
125										
150										
200										
250										
300										
350										
計	J				K			L		

管種 ＼ 種別	屋内	屋外	埋設	排水通気	配管工計
1．配管用(白・黒)，水道用鋼管	A	B	C		人
2．ライニング鋼管	D	E	F		人
3．ステンレス鋼鋼管	G	H	I		人
4．塩化ビニル管	J	K		L	人
				合計	人

（設備名）　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更

配管区間		管種	口径	区分				被覆（m）		塗装（m）							備考
自	至			屋内	屋外	埋設	排水通気	屋内	屋外								
送水管		SUS	32	1.16													
送水管		SUS	50	5.23													
ドレン		SGP	15	3.2													
圧力計配管		SGP	15	0.9													
仕切弁		NC	32	0.28													
仕切弁		NC	50	0.60													
逆止弁		NC	50	0.30													
撤去																	
送水管		SGP	40	0.84													
送水管		SGP	50	8.48													
ドレン		SGP	15	4.28													
圧力計配管		SGP	15	0.9													
仕切弁		FC	50	1.05													
逆止弁		FC	50	0.32													

集　計

管種	口径	屋内				屋外				埋設				排水通気				被覆		備考
		積算数量(m)	補完率	計	設計数量(m)	積算数量(m)	補完率	計	設計数量(m)	積算数量(m)	補完率	計	設計数量(m)	積算数量(m)	補完率	計	設計数量(m)	屋内	屋外	
SUS	32	1.16	0.1	1.28	1.28															有効数字3桁,小数点以下2位以内
SUS	50	5.23	0.1	5.75	5.75															とし,次の位を四捨五入とする。
SGP	15	4.1	0.1	4.51	4.51															
仕切弁	32	0.28		0.28	0.28															
仕切弁	50	0.60		0.60	0.60															
逆止弁	50	0.30		0.30	0.30															
撤去																				
SGP	40	0.84		0.84	0.84															
SGP	50	8.48		8.48	8.48															
SGP	15	5.18		5.18	5.18															
仕切弁	50	1.05		1.05	1.05															
逆止弁	50	0.32		0.32	0.32															

（設備名）　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

小配管

管種	口径	配管名称	区分	計　算　式			備　考
SUS	32	送水管	屋内	(0.23)*2+(0.1+0.25) *2	＝	1.16	
SUS	50	送水管	屋内	0.15*2+1.07+1.15+2.71	＝	5.23	
SGP	15	ドレン	屋内	(1.0+0.5+0.1)*2	＝	3.20	
SGP	15	圧力計配管	屋内	(0.1*3) + (0.1+0.3+0.1+0.1)	＝	0.90	
仕切弁	32		屋内	0.14*2	＝	0.28	
仕切弁	50		屋内	0.15*4	＝	0.60	
逆止弁	50		屋内	0.15*2	＝	0.30	
撤去							
SGP	40	送水管	屋内	(0.22)*2+(0.2)*2	＝	0.84	
SGP	50	送水管	屋内	(0.15+0.2)*2+1.07+1.42+2.71+0.31+1.96+0.31	＝	8.48	
SGP	15	ドレン	屋内	(0.1+0.3+0.5+1.14+0.1)*2	＝	4.28	
SGP	15	圧力計配管	屋内	(0.1*3) + (0.1+0.3+0.1+0.1)	＝	0.90	
仕切弁	50		屋内	0.15*7	＝	1.05	
逆止弁	50		屋内	0.16*2	＝	0.32	

（設備名） 寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

材料集計

番号	名称	形状・寸法	材質	数量	備　考
1	SUS1F加工管(片落直管)	φ50×φ32×230L　JIS10K		2	
2	SUS1F加工管(直管)	φ32×100L　JIS10K		2	
3	SUS2F加工管(片落曲管)	φ50×φ150L×90°　×φ32×250L　JIS10K		2	
4	SUS2F加工管(直管)	φ50×200L　JIS10K		1	
5	SUS2F加工管(直管)	φ50×270L　JIS10K		1	
6	SUS3ルーズF加工管(T字管)	φ50×150L×150L×150H　JIS10K		1	
7	SUS2F加工管(直管)	φ50×850L　JIS10K		1	
8	SUS2F加工管(曲管)	φ50×150L×90°　×150L　JIS10K		1	
9	SUS2F加工管(直管)	φ50×1000L　JIS10K		1	
10	SUS2F加工管(直管)	φ50×125L　JIS10K		1	
11	SUS2F加工管(直管)	φ50×730L　JIS10K		1	
12	フランジアダプター(NC製)	φ50×200L　JIS10K		1	
13	仕切弁(NC製)	φ32　JIS10K		2	
14	仕切弁(NC製)	φ50　JIS10K		4	
15	水撃防止逆止弁(NC製)	φ32　JIS10K		2	
16	SGP	15A		4.5	
17	圧力計			2	
18	圧力計用ボールバルブ			2	
19	横水栓	13A　ホース接続形		1	
20	ホース			1	
21	ボールバルブ	15A		1	
22	フランジ接合材	φ32　JIS10K　SUS　B,N,P		6	
23	フランジ接合材	φ50　JIS10K　SUS　B,N,P		16	
24	絶縁フランジ接合材	φ50　JIS10K　SUS　B,N,P		2	
25	SUS架台	ポンプ用		2	

（設備名） 寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

産業廃棄物処理集計表（金属くず）

番号	名称	形状・寸法	単質 kg	数量	計 kg	備　考
1	ポンプ	φ40	74	2	148	
2	SGP	φ15	1.31	5.18	6	
3	SGP	φ40	3.89	0.84	3	
4	SGP	φ50	5.31	8.48	45	
5	仕切弁	φ50	12	7	84	
6	逆止弁	φ50	8	2	16	
合計					302	kg
換算					1.13	t/m3
設計数量					0.27	m3

備考）

数量計算書

寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

工種:

名　　称	計　　算　　式	数　　量
圧力計　2個	配管工0.23×2	0.46
水栓　1個	配管工0.07×1	0.07
	合計	0.53

（設備名） 寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

土工集計表

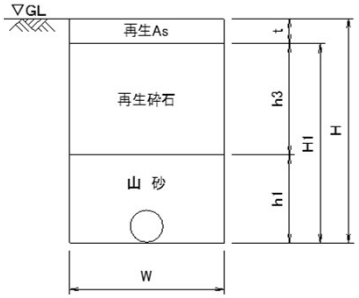
Date:　　.　　No.

	項目	管路①												設計数量	単位
1	舗装切断工（As）	4.00												4.00	m
2	舗装取壊し工（As）	1.00												1.00	m2
3	機械掘削工	1.66												1.70	m3
4	機械埋戻工（砂）	0.70												0.70	m3
5	機械埋戻工（発生土）														m3
6	機械埋戻工（再生砕石）	0.96												1.00	m3
7	上層路盤工														m2
8	再生As舗装工	1.00												1.00	m2
9	残土処理工	1.66												1.70	m3
10	廃材処理工（As）	0.04												0.10	m3
11															
12															
13															
14															
15															
16															
17															
18															
19															
20															
21															
22															
23															
24															
25															

土 工 計 算 書

（設備名）　寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事

名称	管路 埋設部凍結工法用	数量	1箇所



H（深さ）=	1.70
H1（深さ）=	1.66
W（幅）=	1.00
D（奥行）=	1.00
h1（砂）=	0.70
h2（発生土）=	
h3（再生砕石）=	0.96
h4（粒調砕石）=	
t（舗装復旧厚）=	0.04
t1（既設舗装厚）=	0.04

舗装切断工	(W + L) (1 + 1) × 2.00 = 4	4.00	m
舗装取壊工	W × L 1.00 × 1.00 = 1.00	1.00	m2
機械掘削工	W × L × H1 1.00 × 1.00 × 1.66 = 1.66	1.66	m3
砂埋戻工	W × L × h1 1.00 × 1.00 × 0.70 = 0.70	0.70	m3
砕石埋戻工	W × L × h3 1.00 × 1.00 × 0.96 = 0.96	0.96	m3
舗装工	W × L 1.00 × 1.00 = 1.00	1.00	m2
残土処理工	掘削 1.66	1.66	m3
廃材処理工	W × L × t1 1.00 × 1.00 × 0.04 = 0.04	0.04	m3

名称		数量

名称		数量

寺 山 浄 水 場 送 水 ポ ン プ ・ 送 水 流 量 計 更 新 工 事

数 量 計 算 書
（ 電 気 設 備 ）

機 器 数 量　　数量は機器金額入力欄の数量とします　[Aグループ]

(1)	機　器	電磁流量計	組	1
(2)	機　器	屋内ｽﾀﾝﾄﾞ形現場操作盤	面	1

材 料 数 量　　(*) 印は工量無　　[Aグループ]

(1)	一般労務費	電　工 (据付)	人
(2)	技術労務費	技術者 (据付)	人
(3)	技術労務費	技術者 (単体調整)	人
(4)	技術労務費	技術者 (組合試験)	人

機 器 数 量(撤去)　　数量・単位は据付入力欄のものとします[Aグループ]

(1)	機　器	電磁流量計	台	1
(2)	機　器	屋内ｽﾀﾝﾄﾞ形現場操作盤	面	1

人　工　集　計　表　　[Aグループ]

集計表名称	据付・配線工							単体調整	重量(撤去重量)	試験工				
	技術者	電　工						技術者	(ｔ)	技術者	電　工			
据付工集計表(S-101)									0.065					
試験工集計表(T-101)														
(撤　去)据付工集計表(S-101)									(0.065)					
合計									0.065(0.065)					
設計数量									0.065(0.065)					

矢板　寺山浄水場送水ポンプ2台、ポンプ盤更新修繕（　1/　1）　　据　付　工　集　計　表　　[Aグループ]

機 器 名 称	形　　状	単位	数量	技術者		電　工		技術者単体調整				歩　掛	機器重量(t)		備　　考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	ページ	単位重量	重量	
電磁流量計	電磁流量計　50φ 発信器＋変換器	台	1											0.01	電磁流量計　50φ 発信器＋変換器
屋内ｽﾀﾝﾄﾞ形 現場操作盤	屋内ｽﾀﾝﾄﾞ形 W500*H600*D300	面	1											0.055	現場操作盤6 ｽﾀﾝﾄﾞ形 W500*H600
計（S-101）													0.065		

矢板　寺山浄水場送水ポンプ2台、ポンプ盤更新修繕（　1/　1）　　試　験　工　集　計　表　　[Aグループ]

機器名称	形状	単位	数量	技術者		電工		技術者単体調整				歩掛	備考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	ページ	
電磁流量計		ﾙｰﾌﾟ	1										計装設備 発信器類
屋内ｽﾀﾝﾄﾞ形 現場操作盤		面	1		---								
計（T-101）													

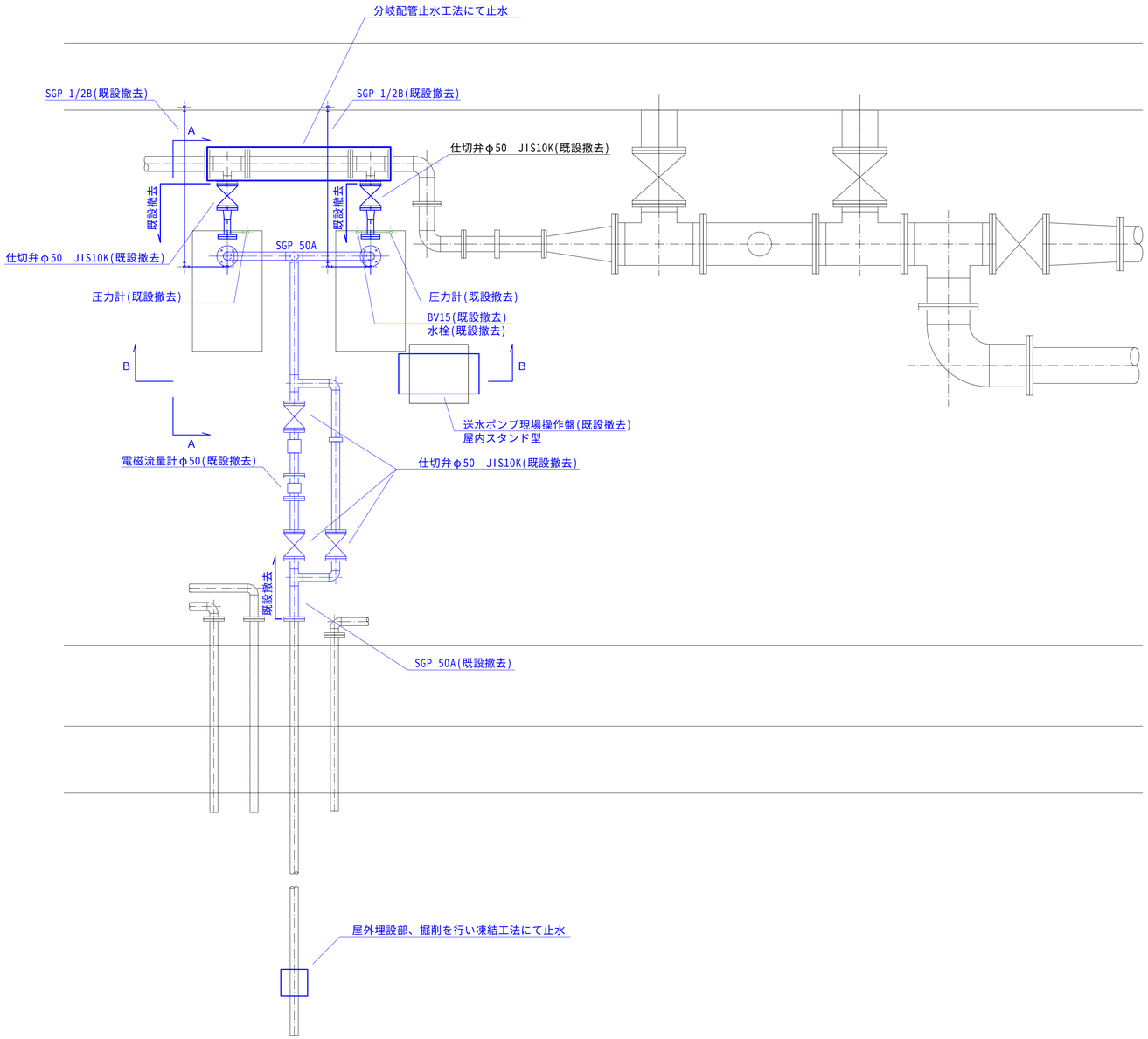
矢板　寺山浄水場送水ポンプ2台、ポンプ盤更新修繕（　1/　1）　　(撤　去)据　付　工　集　計　表　　[Aグループ]

機 器 名 称	形　　状	単位	数量	技術者		電　工		技術者単体調整				歩　掛	機器重量(t)		備　　考
				単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	単位工量	工量	ページ	単位重量	重量	
電磁流量計	電磁流量計　50φ 発信器＋変換器	台	1											0.01	電磁流量計　50φ 発信器＋変換器
屋内ｽﾀﾝﾄﾞ形 現場操作盤	屋内ｽﾀﾝﾄﾞ形 W500*H600*D300	面	1											0.055	現場操作盤6 ｽﾀﾝﾄﾞ形 W500*H600
計 (S-101)				#	--->								0.065		

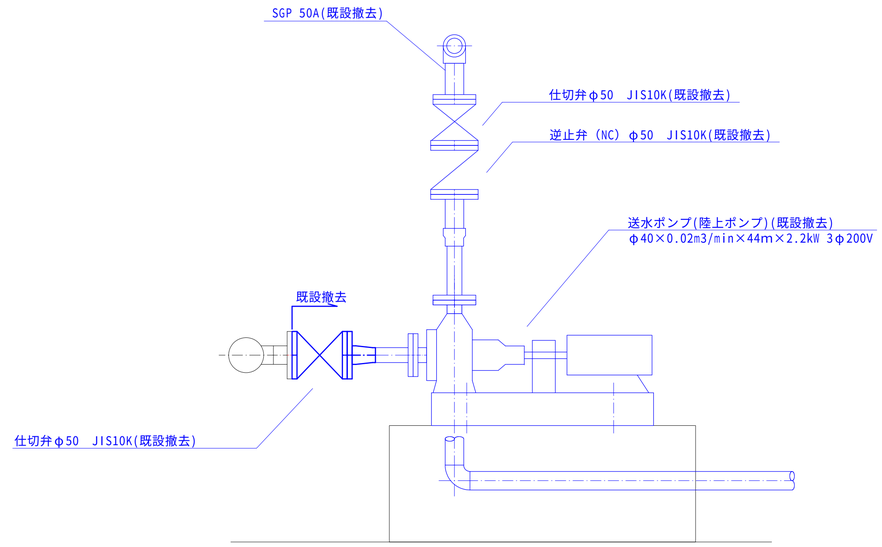
#印は再使用しない撤去なので技術者を電　工に読み替える

寺山浄水場　流出弁室内配管図(更新前)　S=1/20

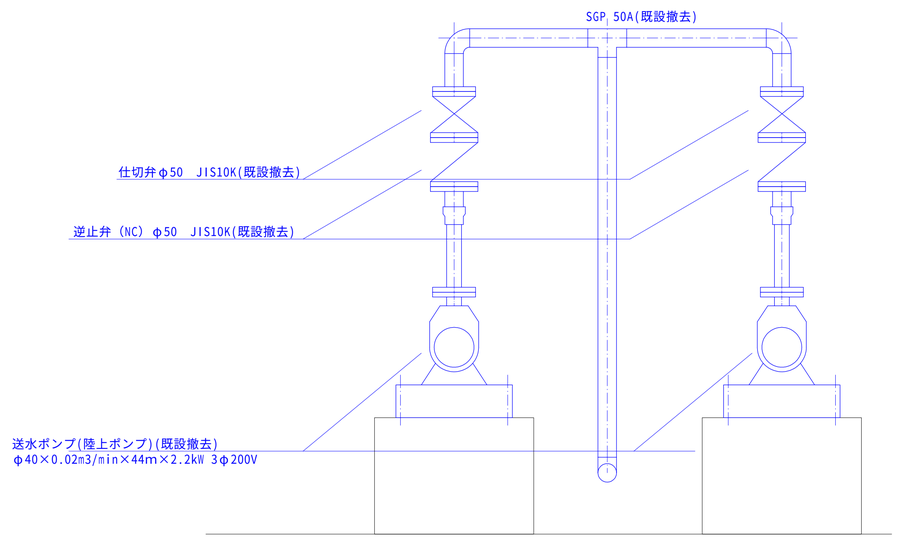
平面図　S=1/20



A - A 断面図　S=1/10



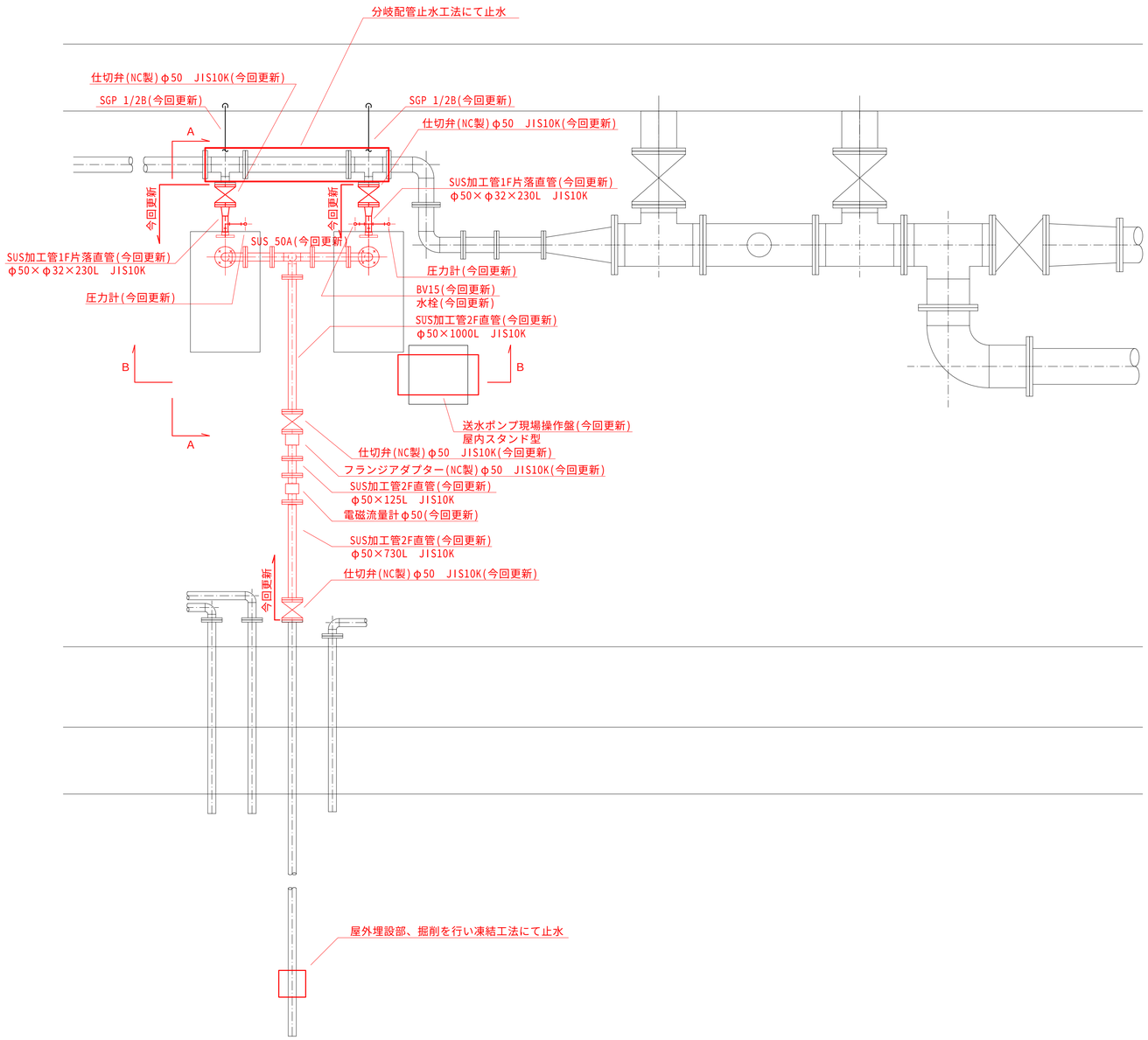
B - B 断面図　S=1/10



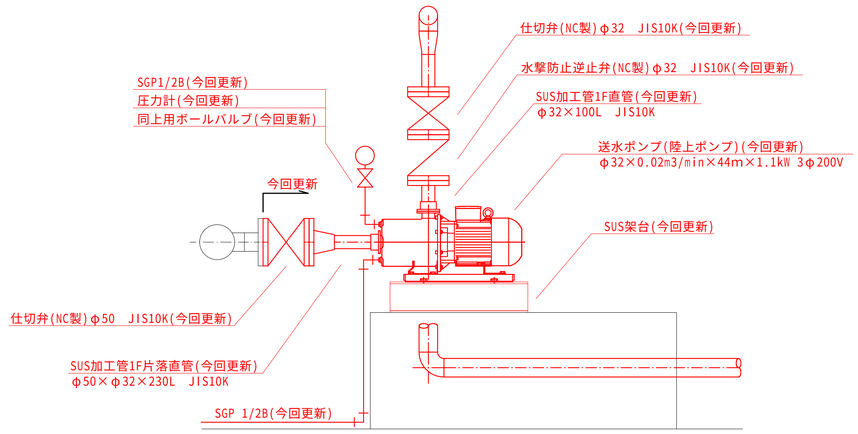
発注者	矢　板　市　役　所						
工事名	寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事						
図　面	流出弁室内配管図(更新前)						
工事箇所	矢板市　長井　地内						
縮　尺	1/20	設計年月日 ・ ・	図番	1/3			
検　印	照査		設計		製図		

寺山浄水場　流出弁室内配管図(更新後)　S=1/20

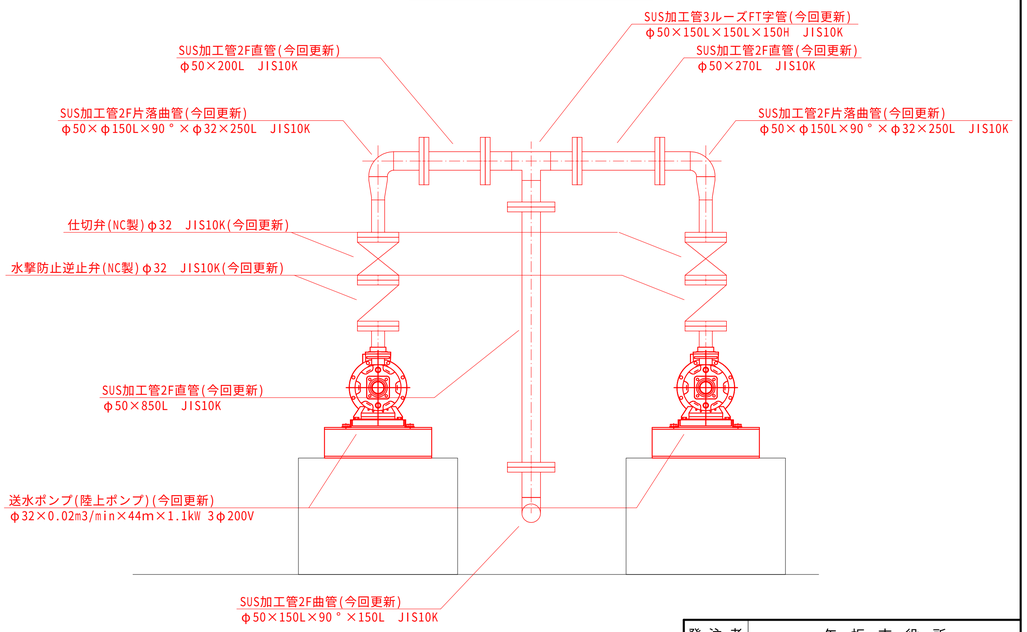
平面図　S=1/20



A - A断面図　S=1/10

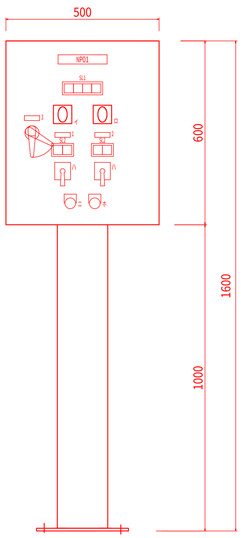


B - B断面図　S=1/10

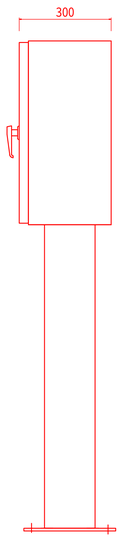


発注者	矢　板　市　役　所						
工事名	寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事						
図　面	流出弁室内配管図(更新後)						
工事箇所	矢板市　長井　地内						
縮　尺	1/20	設計年月日	・　・	図番	2/3		
検　印	照査		設計		製図		

正面図



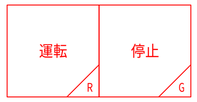
側面図



記　号	名板記入文字	備　考
ＮＰ－０１	送水ポンプ	
１	ＮＯ．１	
２	ＮＯ．２	
３	LCB-25	
イ	現場　－　中央	
ロ	No.1　－　No.2	
ハ	運転　－　停止	
ニ	予備	
ホ	ランプテスト	

SL1

SL2



・筐体仕様：鋼板製

・塗装仕様：(5Y7/1　半ツヤ)

送水ポンプ現場操作盤外形図　S=1/10

発注者	矢　板　市　役　所				
工事名	寺山浄水場送水ポンプ・送水流量計更新工事				
図　面	送水ポンプ現場操作盤　外形図				
工事箇所	矢板市　長井　地内				
縮　尺	１／１０	設計年月日 ・　・	図番	3/3	
検　印	照査	設計	製図		